



平成30年12月3日

各 位

会社名 株式会社ディー・エル・イー  
代表者名 代表取締役 椎木 隆太  
(コード番号 3686 東証第1部)  
問合せ先 執行役員 高倉 喜仁  
(TEL 03-3221-3980)

(訂正)「平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年11月13日に開示いたしました「平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年12月3日)付「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



## 平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ディー・エル・イー

コード番号 3686

URL <http://www.dle.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役

（氏名） 椎木 隆太

問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO兼経営戦略統括本部長

（氏名） 川島 崇

（TEL） 03-3221-3980

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績（平成27年7月1日～平成27年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	426	—	△20	—	△23	—	△132	—
27年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 28年6月期第1四半期 △132百万円（－％） 27年6月期第1四半期 —百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	△7.93	—
27年6月期第1四半期	—	—

（注）平成28年6月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	2,369	843	35.6
27年6月期	—	—	—

（参考）自己資本 28年6月期第1四半期 843百万円 27年6月期 —百万円

（注）平成28年6月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年6月期の数値は記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.0	—	0.0	0.0
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期（予想）	—	0.0	—	0.0	0.0

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想（平成27年7月1日～平成28年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,919	—	233	—	208	—	139	—	8.38

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 平成28年6月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無  
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年6月期1Q	16,767,000株	27年6月期	16,525,800株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	－株	27年6月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年6月期1Q	16,669,245株	27年6月期1Q	16,494,510株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(参考) 個別業績の概要	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅さのみられる個人消費に加え、輸出・生産の持ち直しにより企業部門に改善の兆しがみられるなど、緩やかな回復傾向が続いております。一方、米国の金融緩和策縮小による影響、欧州や中国をはじめとする新興国経済の先行きに対する懸念等、海外景気の下振れリスクとなっております。

当社グループを取り巻く環境においては、スマートフォンやタブレットPCなどのスマートデバイスの普及が世界規模で急速に拡大し、それに伴い、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画配信サイト、ソーシャルゲーム、コミュニケーションアプリなどの新たなサービスの利用も急速に拡大しております。

そのような環境変化は、人々のライフスタイルを、スマートデバイス等を使い、最適メディアを選択し、必要なときに必要な時間だけコンテンツを消費し、SNS等を使って、即時に情報や感動を共有するといった、メディア接触方法の多様化、コンテンツ視聴の短時間化、情報共有のリアルタイム化へと世界規模で変化させ、「スキマ時間に楽しめるショートコンテンツ」といった新たな付加価値へのニーズを急速に拡大させております。

このような事業環境の中、当社では、視聴者や消費者等の多様化し変化の早い嗜好や価値観、旬な時事ネタ等を捉え、適時に対応することを強みとする、ファスト・エンタテインメント事業を展開し、インターネット時代にマッチしたショートコンテンツを量産してまいりました。

また、前事業年度に取得した「TOKYO GIRLS COLLECTION」の商標権を積極的に展開し、ファッション・ビューティーに関する情報の発信源として日本のガールズカルチャーを世界に発信する取組みをしてまいりました。

ソーシャル・コミュニケーション領域においては、新規又は既存のソーシャル・キャラクターを開発・活用し、広告主向けのソーシャル・キャラクター・マーケティング・サービスの提供及びスマートフォン向けゲームアプリやメッセージングアプリ向けスタンプ等のデジタルコンテンツの企画開発・配信を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、前事業年度に引続き人員の採用・教育による体制強化を行い、主にナショナルクライアントや地方自治体向けにキャラクターを活用したインターネット動画広告等のクロスメディアプロモーションニーズの掘り起こしを行いました。また、デジタルコンテンツの開発及び販売体制の更なる強化を行った結果「パンパカパンツ」LINEアニメーションスタンプが日本、海外7ヶ国・地域でセールスランキング1位を獲得、Yahoo!ゲームのHTML5ゲームプラットフォーム「かんたんゲーム」に「秘密結社 鷹の爪」、「パンパカパンツ」など4タイトルを提供開始するなど、販売は順調に推移いたしました。

IPクリエイション領域においては、IPの映像コンテンツの企画開発・制作及び総合的なプロデュースを展開しております。

当第1四半期連結累計期間においては、既存IPでは「秘密結社 鷹の爪」、「パンパカパンツ」及びその他IPのTVシリーズ・WEBシリーズの継続により認知度向上及び世界観醸成に努めたほか、「怪獣酒場カンパニー！」などのTVシリーズ放送開始及び共同キャラクター事業等による新規IPの創出及びプロモーションに取り組みました。

「TOKYO GIRLS COLLECTION」においては、当社が所有するTOKYO GIRLS COLLECTIONの商標の利用許諾のもと、「東京ガールズコレクション'15 A/W」が開催されました。TOKYO GIRLS COLLECTIONの商標をイベント、商品開発などに積極的に活用し、事業領域の拡大及びブランド価値の向上に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は426,142千円、経常損失は23,415千円、四半期純損失は132,224千円となっております。

なお、当社グループは、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、1,511,481千円となりました。主な内訳は、現金及び預金442,117千円、受取手形及び売掛金425,116千円、仕掛品269,496千円であります。

また、固定資産は、858,261千円となりました。主な内訳は、商標権737,911千円であります。

以上の結果、総資産は2,369,743千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、812,429千円となりました。主な内訳は、買掛金199,758千円、1年内返済予定の長期借入金193,800千円であります。

また、固定負債は713,654千円となりました。内訳は長期借入金713,654千円であります。

以上の結果、負債合計は1,526,083千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は843,659千円となりました。主な内訳は、資本金750,505千円、資本剰余金527,825千円及び利益剰余金△434,670千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月14日に公表しました平成28年6月期の通期業績予想を修正しております。詳細は本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	442,117
受取手形及び売掛金	425,116
商品及び製品	25,553
仕掛品	269,496
その他	349,197
流動資産合計	1,511,481
固定資産	
無形固定資産	
商標権	737,911
無形固定資産合計	737,911
投資その他の資産	
その他	120,349
投資その他の資産合計	120,349
固定資産合計	858,261
資産合計	2,369,743
負債の部	
流動負債	
買掛金	199,758
1年内返済予定の長期借入金	193,800
前受金	154,106
その他	264,763
流動負債合計	812,429
固定負債	
長期借入金	713,654
固定負債合計	713,654
負債合計	1,526,083
純資産の部	
株主資本	
資本金	750,505
資本剰余金	527,825
利益剰余金	△434,670
株主資本合計	843,659
純資産合計	843,659
負債純資産合計	2,369,743

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	426,142
売上原価	261,048
売上総利益	165,093
販売費及び一般管理費	186,026
営業損失(△)	△20,933
営業外収益	
受取利息	57
営業外収益合計	57
営業外費用	
支払利息	857
為替差損	1,296
その他	384
営業外費用合計	2,538
経常損失(△)	△23,415
特別損失	
減損損失	108,809
特別損失合計	108,809
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,224
法人税、住民税及び事業税	0
法人税等合計	0
四半期純損失(△)	△132,224
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△132,224

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△132,224
四半期包括利益	△132,224
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△132,224
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(参考) 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年6月期第1四半期の業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	430	122.1	△2	—	△5	—	△114	—
27年6月期第1四半期	193	—	△116	—	△114	—	△114	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	△6.84	—
27年6月期第1四半期	△6.92	—

(注) 1. 当社は、第1四半期の業績開示を平成27年6月期から行っているため、平成27年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

2. 平成27年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	2,384	861	36.1
27年6月期	2,234	962	43.1

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 861百万円 27年6月期 962百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.0	—	0.0	0.0
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.0	—	0.0	0.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,919	93.1	233	—	208	—	139	—	8.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

## ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期1Q	16,767,000株	27年6月期	16,525,800株
28年6月期1Q	一株	27年6月期	一株
28年6月期1Q	16,669,245株	27年6月期1Q	16,494,510株

発行済株式数に関する注記

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。